

# 企業&NPO協働アイデアコンテスト



小口利率市長(右)に事業を説明する小笠原恵美子さん(中)ら＝塩尻市役所で

## 塩尻の団体が最優秀賞

要約筆記などで聴覚障害者を支援する特定非営利活動法人(NPO法人)長野サマライズ・センター(塩尻市)が、名古屋市中で開かれた「企業&NPO協働アイデアコンテスト」で聴覚障害者の代わりに企業などが情報収集や仲介をする事業を提案し、最優秀賞に輝いた。二十二日、小口利率塩尻市長に受賞を報告した。

(福岡範行)

同コンテストは、中部地域で活動するNPOなどの団体が企業との協働事業を提案し、事業化を目指す取り組み

### 市長に受賞報告 聴覚障害者の代わりに 情報収集、仲介を提案

で、財団法人中部産業活性化センターなどが主催し、今回が二回目。サマライズ・センターは、企業のコールセンターの職員が、聴覚障害者からFAXや電子メールで依頼を受け、それを電話にして、脱皮して日常生活に必要な情報を集めて

返信したり、施設、病院の予約などを仲介する事業を提案。企業は電話の前に常駐する職員を活用して社会貢献ができ、聴覚障害者は一人でいる場合でも必要な情報が手に入り、より自立した生活ができる。コンテスト後に、旅行会社から「うちで実現できるかも」と声をかけられたと

いう。

同センターの小笠原恵美子副理事長(右)は「企業やNPO

など、みんながつながらないと街づくりはよくならない」と話し、小口市長は「こ

れを糧にして、脱皮して日常生活に必要な情報を集めてほしい」と激励した。